

イオンモール座間整備事業 認証評価書の内容

1 事業の概要

事業の名称	イオンモール座間整備事業
事業の実施者	イオンモール株式会社
事業の実施区域	座間市広野台2丁目10-4ほか
事業の規模	敷地面積：92,035.33㎡

2 環境共生の取組の評価結果

代表指標	取組の評価結果
緑化率	15.0%（広野台39号線の供用開始に伴う、建蔽率の角地緩和を考慮した基準値）
エネルギー削減率	BEI 0.80（「CASBEEかながわ」の数値を用いた概算値）
CO ₂ 削減率	30%

個別指標	取組項目数	目標項目数
目標1	4	4
目標2	8	8
目標3	6	2
目標4	6	3

3 環境共生の取組の継続・維持管理方針

本認証評価書に掲げる環境共生の取組については、「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」の趣旨を踏まえ、適正に継続・維持管理が図られるよう努めるものとする。

また、本事業により整備する施設等を譲渡などにより第三者へ承継する場合、承継する者に対し、本認証評価書に基づく環境共生の取組を可能な限り継続していくよう通知するとともに、速やかに県に対して申し出るものとする。

4 環境共生の取組の実施内容

【目標1】自然が有する機能・魅力を生かした都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
みどり	気候緩和のための計画的な緑地を配置する	・外構や壁面緑化を積極的に行い、生物資源の創出や温熱環境負荷低減の向上に配慮する。
	地域・地区の特性、生態系に配慮した緑地を整備する	・地域の植生を含め土壌・表土の状況・地層の状況など調査を実施し、植樹を決定する。
	道路との敷地境界に生垣や緑地緩衝帯などを整備する	・公道に面した駐車場まわりは、植栽により修景を図っている。また、隣地境界及び道路境界沿いの植栽により良好な景観を形成する。
	緑とふれあえる場を整備する	・オープン時の地域住民による植樹活動の実施により、自然と触れ合う・意識を高める機会を設け、生物環境の保全と創出を図る。

【目標2】環境への負荷を低減する都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
水	雨水の地下浸透能力を強化する	・雨水浸透貯留水槽を設け敷地内全浸透を行う。なお、浸透貯留水槽は座間市の基準に加えゲリラ豪雨対策を見込んだ容量とする。
	上水道の節水設備を導入する	・自動水栓、節水型便器、節水コマなどの節水型器具の導入により、水の省資源化を図る。
エネルギー	建物外皮の熱負荷抑制にかかる措置を講じる	・断熱性の高い建材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮する。
	省エネ型の照明、空調換気、給湯設備及び動力設備を導入する	・商業施設内の全ての照明にLED照明を採用してエネルギー使用量の抑制を図る。
	太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーを利用する	・商業施設屋上及び壁面に太陽光発電設備を設置する。
資源循環	耐久性や更新性の向上など、建築物の長寿命化にかかる措置を講じる	・ゆとりある階高や大空間を確保することで、将来の更新性の向上を図る。
	設備の維持管理対策・更新性等の措置を講じる	・耐用年数の長い材料を採用し、建物の耐用性の向上に配慮する。
	建築物、外構等にリサイクル材を使用する	・リサイクル材や再利用可能なユニット部材の採用により、非再生資源の使用量削減に配慮する。

【目標3】環境とのバランスのとれた交通計画による都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
交通	施設の整備規模に応じた駐・停車、駐輪スペースを確保する	・建物利用者のための適切な広さの駐車スペース及び自転車置場を確保するとともに、出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮する。
	公共交通の導入を前提とした道路を整備する	・街区内に路線バス・座間市コミュニティバスの乗降環境を整備する。
	自転車・歩行者空間を整備する	・自動車交通と分離された自転車及び歩行者空間を整備する。
	低公害車のサービス拠点を整備する	・街区内に電気自動車用充電スペースを整備する。
	車・自転車のシェアシステムや、低公害車を導入する	・街区内にカーシェアリング施設を設置する。
	公共交通への近接性を確保する	・街区内にバス停を設置する。

【目標4】地域アメニティを創出する都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
地域 アメニティ	地域景観に配慮し、電線の地中化や建築物等の高さ、形状、色等の工夫をする	屋外照明は周囲への漏れ光に配慮した計画とする。
	地域に開かれたコミュニティスペースやサービス拠点などを整備する	さまざまなプロジェクトとして、ワークショップやみんなの部活動、シーズンイベントなどを実施する。
	災害時に利用出来るような施設を適切に配置する	受水槽に緊急給水口を設置する。また、店舗棟非常用発電機の燃料備蓄を行い、停電時の保安負荷への電源供給11時間を確保する。
	利用者が安心して過ごせるよう、地域の防災・防犯対策に係る取組を実施する	災害時においては、施設内のパブリックスペースの開放等により、地域の防災に協力する。
	高齢者、障害者等に配慮した建築物、歩行空間等を整備する	施設の規模に応じて、みんなのトイレを配置するなど、高齢者や障がい者等、誰もが使いやすいユニバーサルデザインとする。
	利用者が健康・快適に過ごせる環境づくりに係る取組を実施する	イオンモールウォーキングとして、商業施設内をウォーキングコースとして利用するなど、利用者が健康・快適に過ごせる空間を提供する。